園長だより

No.7 5.22(Mon)

木々の緑も日一日と濃さを増し、初夏を思わせる様なパワーみなぎる季節ですね。

新年度がスタートし、2ヶ月が過ぎようとしています。やっと園のリズムに慣れてきたかと思いきやGWで元通りに……。そんな声も聞かれ、それぞれの学年で涙々の子もまだ沢山います。

もも組さんは、4月当初は涙こそみせませんでしたが、体いっぱい心いっぱい頑張って、そんな張りつめていた緊張の糸が緩み、やっと今になって泣ける子が続出！園生活には、ルールがあって、順番があって、園生活のリズムや先生や友達や、その子なりに分かってきたからこその、一歩進んだ証の涙なんですね。

さくら・ふじ組さんは、進級し、新しい環境に戸惑いながらもなんとか皆と歩調を合わせますが、時に思う様にいかない事もあり、それで泣けてしまうんですね。よく保護者の皆様からは、「さくら・ふじ組にもなって、どうして？」と言われますが、「さくら・ふじ組だからこそ、周りが見えるからこその一歩成長した涙なんですね。

あるお母様に「やっとこの頃、自分をだせるようになり泣いてくれているので、安心しました」と声を掛けると、「そうですか、泣いてもいいんですか？」と疑問に思っていらしたので、「園という社会の中で、それぞれの学年、それぞれの立場を理解し、精一杯頑張っているんですよ。泣けるという事は、自分の思いを素直に表現出来る、自分の負の部分をさらけ出せるのですから素晴しい事じゃないですか！そんな時こそ、"泣いていいよ""我慢しなくていいよ"と、受け止めてあげる事により、心が安定し、『あの時分かってくれた、支えてくれた』『ひとりじゃない』『自分は愛されている』という自己肯定感に変わり、これからの社会を生き抜いていく"生きる力"となっていくのではないでしょうか。」

（涙にもいろいろな思いがあるんですね。）

そんな会話をさせて頂きました。小学校、中学校…と年を重ねるにつれ、理性を背負い「泣く」事もままならない世界へと足を進めていかなければなりません。幼児期の"今"、心の土台をつくってあげる時ではないかと思うんです。

「泣いてもいいよ」心から声をかけてあげたいと思います。

お知らせ

＊6月9日(金) 浜松学院大学短期大学部教授、今井昌彦先生による「メディアとこども・今問われるコミュニケーションの重要性」をテーマに講演会を開催します。

10:00～より遊戯室に直接お入り下さい。（9:55より入庫可能です）

↓

10:20～11:50 講演会

↓

11:50～12:20 各クラスにて給食参観。（各クラスに、ご移動下さい）

各自、自由解散です。

駐車場が混み合いますので、終了後は速やかに南側よりご退出下さい。

お知らせ

先週行った、お芋の苗植え（さくら・ふじ組）・和太鼓練習（ふじ組）・西都台小学校への徒歩避難訓練（さくら組）など園での小さな行事を、園の掲示板、ホームページで紹介しています。是非ご覧下さい。